

平成16年度事業報告

事業概要

平成16年度は、国内研究助成（37件）、海外研究助成（8件）、国際学会および海外渡航研究者の援助、成果報告論文の刊行、学術講演会開催等の事業を行った。国内研究助成については、2年継続研究テーマを2件設定し、年度末に進捗ヒヤリングを実施した。平成17年度研究助成募集と選考を行った。

事業内容

1. 研究助成事業

(1) 国内研究助成

平成15年度に募集・選考した37件の助成対象研究につき、第26回贈呈式を平成16年4月19日に開催し、研究助成金贈呈を行った。うち2件については内容が基礎的でありかつ成果の影響力を考慮して、継続研究が好ましいと判断し、継続研究テーマとした。

第27回研究助成事業については、平成16年11月末締切で全国から助成対象研究を募集し、前年比24%増の210件の応募を得た（平成16年度は169件）。応募の傾向として、大都市にある国立大学が半分近くを占めるという分布は変わらないが、大学以外の公的機関や高専からの応募が14件に達し、申請者の多様化が見られる。

2001年より応募増に対応するため助成件数を増やしたが、平成17年度は過去最大40件を選考し、総計5,405万円（平成16年度は5,169万円）の助成を決定した。また、うち2件を継続研究テーマとした。

(2) 海外研究助成

助成対象は、昨年同様マレーシアの2大学（マラヤ大学、サインスマレーシア大学）、シンガポール2大学（シンガポール国立大学、ナンヤン工科大学）、中国4大学（東南大学、合肥工業大学、武漢理工大学、天津大学）の8大学とした。

応募総数35件（マレーシア11、シンガポール14、中国10）から8件（マレーシア2、シンガポール2、中国4）を選考し、総額63,000米ドルを贈呈した。（平成15年度は応募19件から7件に総額58,960米ドルを贈呈）。

ベトナムの大学を研究助成対象とすべく調査を行った。

2. 国際学会等の助成事業

国際学会助成については、合計4件、40万円の助成を、また海外渡航研究者助成については2件に対し、20万円の助成を行った。

3. 成果普及事業

平成13年度助成研究の成果をまとめ、第22号成果報告書を刊行し、全国の

主要大学やその図書館等に寄贈した。また、35件の成果報告の中から6名の先生方にお願ひし、学術講演会を平成17年1月21日東京で開催した。

4. 財政基盤・体制の整備

日本板硝子(株)からの寄附金4,500万円を含め、事業会社15社、個人1名より計4,895万円の寄付金を頂いた。予算は4,800万円でありこれを上回った。

本年度の資金運用益は、配当を2回受け、さらに、為替レートが予算策定時より円安基調で推移したこともあり、収入は予算を上回った。予算外支出としては退職、退任に伴う出費が536万円発生した。結果、正味財産は約659万円の増であった。

5. その他

(1) 役員の変動

①理事

平成16年6月30日付で専務理事(常勤)小泉健氏が退任され、代わりに横川武史(日本板硝子株式会社顧問)が専務理事(常勤)に選任された。

②評議員

平成16年6月30日付で評議員木戸雄二氏が退任され、代わりに堀口武(日本板硝子株式会社執行役員フラットグラス統括室長)が評議員に選任された。

任期満了に伴い評議員の改選を行った。平成17年3月31日付けで評議員鈴木弘茂氏が退任された。平成17年4月1日付けで、鈴木繁氏(光村印刷株式会社代表取締役社長)と藤本勝司氏(日本板硝子株式会社代表取締役・社長執行役員)が評議員に選任された。その他の評議員は留任となった。平成17年度から役員は下記の通りとなった。

| | |
|----------|--------|
| 理事長 | 庄野 晋吉 |
| 専務理事(常勤) | 横川 武史 |
| 理事 | 末松 安晴 |
| 理事 | 曾我 直弘 |
| 理事 | 植之原 道行 |
| 理事 | 石渡 林太郎 |
| 理事 | 森 禮次郎 |
| 理事 | 中原 恒雄 |
| 理事 | 水野 増雄 |
| 理事 | 出原 洋三 |
| 監事 | 松岡 宏幸 |
| 監事 | 一宮 裕 |

| | |
|-----|-------|
| 評議員 | 作花 濟夫 |
| 評議員 | 田丸 謙二 |
| 評議員 | 辻内 順平 |
| 評議員 | 堀 幸夫 |
| 評議員 | 鈴木 繁 |
| 評議員 | 藤本 勝司 |
| 評議員 | 堀口 武 |
| 評議員 | 船木 正昭 |

(2) 選考委員の異動

任期満了に伴い選考委員の改選を行った。平成17年3月31日付けで鈴木弘茂選考委員と田幸敏治選考委員が退任された。その他の選考委員は留任となった。平成17年度、年初の選考委員は下記の通りとなった。

| | |
|-------|-------|
| 選考委員長 | 作花 濟夫 |
| 選考委員 | 丸茂 文幸 |
| 選考委員 | 村田 好正 |
| 選考委員 | 伊賀 健一 |
| 選考委員 | 牧島 亮男 |
| 選考委員 | 北澤 宏一 |
| 選考委員 | 藤嶋 昭 |

なお、平成17年度に入り、選考委員をさらに1名増員すべく、適任者の調査、検討を行った。その結果、科学技術振興機構研究成果活用プラザ京都館長、京都大学名誉教授の松波弘之氏を候補者として選考した。

以上